

五ヶ丘まちづくりニュースレター



第12号



令和8年度 第2回五ヶ丘活性化🍁プロジェクト全体会を開催しました！

6月27日（土）、益富交流館で第2回五ヶ丘活性化🍁プロジェクト全体会を開催し、27名にご参加いただきました。今回は、公共施設の跡地活用に関する市との意見交換を行いました。また、今後のまちづくりの進め方について協議しました。



寺崎会長

①あいさつ

五ヶ丘活性化🍁プロジェクト 寺崎会長

これからの全体会では、みなさんから多くの意見をいただくことになり、まとめていくことが難しいと感じることも出てきます。しかし、みなさんは熱意を持って五ヶ丘のことを真剣に考えてくれていますので、とても心強く感じています。まずは、自分たちができることから一つずつまちづくりの取組を行っていきたいと思っています。みんなが元気で楽しく集まれるイベントを少しでも増やして、五ヶ丘をもっと元気なまちにしていきたいと思います。高齢者も子どもたちも大切にして、誰もが安心して暮らせる、より良い五ヶ丘をみんなでつくっていきましょう！

第2回五ヶ丘活性化🍁プロジェクト全体会の様子が、ひまわりネットワーク「ひまわりニュース&トピックス」で紹介されます。ひまわりアプリのメニュー「ひまわりテレビ」で7月17日(金)までご視聴いただけますので、ぜひご覧ください！

②公共施設跡地活用に関する説明・意見交換

豊田市企画政策部 資産経営課から五ヶ丘運動広場（以下、運動広場）や浄化センター等公共施設跡地活用の検討状況と今後の予定について説明がありました。その後、地域に必要な場所としてこれらの跡地をどう生かすか、プロジェクトメンバーと資産経営課で意見交換を行いました。



【説明内容】

- 跡地活用に向けて、様々な事業者（約30社）にサウンディング調査※を実施中。
 - 今後は、五ヶ丘活性化プロジェクトや五ヶ丘自治区連合会との意見交換を行いながら方向性を取りまとめる予定。
- ※所有する土地や施設の活用方法について民間事業者から広くアイデアや意見を聞くこと。

【意見交換】

- 住民が集い交流できる施設の立地や、既存施設を防災拠点棟として活用することなどについて意見がありました。市からは、新たな公共施設を整備するのではなく、既存施設の活用や民間事業者の誘導を基本とする跡地活用の方向性が示されました。
- 公共施設跡地を地域で管理することを前提として活用したいという意見がありました。市からは、責任の所在も含めて持続可能な管理体制を構築することが重要であり、民間事業者との連携も見据えながらより良い手法を検討していきたいとの説明がありました。
- 若い世代の呼び込みに向けた新たな住宅整備や既存住宅の住み替えについて、魅力ある住環境や民間事業者のニーズ等を整理していくことを共有しました。

③今後のスケジュール・進め方



【チーム編成】

- ①つながり・にぎわい創出
- ②まちづくり（場・施設）創出
- ③仕組みづくり（なりたい姿になるための）

●今後の全体会スケジュール

原則、毎月第4土曜日14時から益富交流館で開催
※次回7/25（土）のみ14時30分から開催します。

●今後の進め方

菅野副会長から今後は下記3つのチームを編成し、各チームで協議した内容を毎月の全体会で報告すること、12月の住民説明会で今年度の取組を発表することを説明しました。次回までに各チームでまちづくりの理想、課題（現実）、打ち手（具体策）を整理します。

第3回全体会は7月25日（土）14時30分から益富交流館1階大会議室で開催します。五ヶ丘活性化プロジェクトにご興味のある方又は一緒に活動していただける方は下記連絡先へご連絡ください。 ※これまでの取組については市HPでご覧いただけます。



【発行】五ヶ丘自治区連合会、五ヶ丘活性化プロジェクト、
豊田市（高橋支所 地域振興担当） 令和8年7月

【連絡先】電話：80-0077、メールアドレス：takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp

